



白河二中だより

NO. 43
2025. 2. 28
白河市立白河第二中学校
発行責任者 小野 聡

次年度につなげる

20日（木）に実施しました授業参観、各専門委員会、運営委員会等への参加、ありがとうございました。教室に入りきれないほど、たくさんの保護者の方々にお越しいただき、子ども達もいつも以上に張り切って授業に臨んでいたように感じました。子ども達の成長した姿、いかがだったでしょうか。

参観後の学年保護者会では、今年度の学習の様子、生活の様子、また、今後の指導の在り方などを、各学年のそれぞれの担当からお伝えさせていただきました。身体的な成長だけでなく、行事等を通して、一人一人にたくさんの成長が見られましたが、SNSの使用の在り方などがどの学年においても大きな課題ですので、家庭でも再度、お子さんと約束事などを確認いただければと思います。



また、学年委員会、各専門委員会、そして、運営委員会等にもご協力いただき、今年度の反省と次年度への申し送り事項等も伝えていただきました。教養委員、広報委員、厚生委員、地域育成委員の活動も今年度同様進めていく予定ですので、ご協力をお願いいたします。次年度の本部役員につきましては、先日、再募集させていただき、見通しがつきましたことをお知らせいたします。

1、2年生の学年保護者会で白河市教育委員会の方々より説明のありました「部活動地域移行」ですが、22日（土）は本校で剣道の2回目の指導が行われました。この日は、指導者の方5名にお越しいただき、また、表郷中学校の生徒との合同練習であり、活気溢れる、そして、密度の濃い練習がなされていたようです。今年度中は、剣道とソフトボールで地域の方々に協力をいただき進めていくとのことですが、次年度以降も少しずつ移行が進められていくかと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。



全力で

県立高校の入試がいよいよ来週に迫ってきました。筆記試験は5日（水）に全ての県立高校で実施されます。3年生には、これまでの学習を振り返り、自信を持って臨んでほしいと思います。

さて、福島県の県立高校入試における国語科に出題頻度の高い漢字をご存じでしょうか。これまで、私自身が入試を受けた頃からの問題をまとめてきた出題記録を分析してみると、次のような結果になりました。

昭和54年度入試から、3回以上出題された問題です。（読み、書き含めてです。）

- 「専門」（昭和54年、平成14年、令和2年）
- 「納得」（昭和59年、平成13年、平成27年）
- 「刻む」（昭和59年、平成17年、平成31年）
- 「緩やか」「緩めた」（昭和59年、昭和63年、平成23年）
- 「簡潔」（昭和60年、平成2年、平成26年）
- 「預ける」（平成2年、平成16年、平成30年）

果たして、今年は何の漢字が出題されるのでしょうか。頑張れ、3年生！

